

地震に備えて

阪神・淡路大地震における死傷原因の多くは、家屋の倒壊や家具類の下敷きによるものでした。自分や家族の命を守るための第一の地震対策は、家屋の耐震補強や家具類の転倒・落下防止をおこなうことです。

被害を減らすよう、日頃から危険箇所はないか点検しましょう。



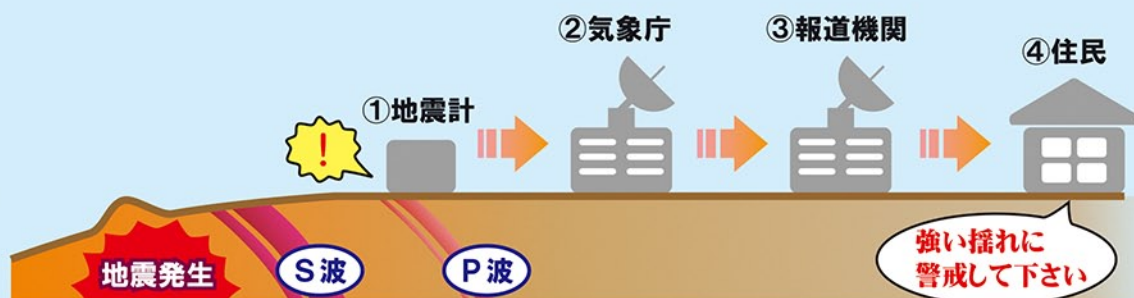
□ 屋外での点検

- 壁面や基礎に亀裂はありませんか？腐ったり、シロアリに食われている箇所はありませんか？
- ブロック塀にはしっかり鉄筋が入っていますか？破損箇所はありませんか？
- 脱出時の妨げにならないように、ドアの前に自転車やベビーカーは置いていませんか？
- プロパンガスのボンベは、鎖等で転倒しないように固定されていますか？

緊急地震速報を知っていますか？

地震はP波と呼ばれる小さな揺れの後、S波と呼ばれる大きな揺れが来ます。緊急地震速報は、このP波をとらえ地震の規模や震源地、到達時間を予測し、大きな揺れのS波が来る数秒から数十秒前にテレビ・ラジオなどで発表されるものです。（最大震度5弱以上の地震と推定した際、震度4以上の地域をお知らせします。）

緊急地震速報を受信することにより、列車やエレベーターを素早く制御させて危険を回避したり、避難行動をとることにより、地震の被害を減らすことができるものと期待されています。



※短時間データでの情報であることから、予測された震度に誤差を伴う場合があります。